

2023  
10月~11月 子どもの姿

- 地図を作ることで公園内のあらゆる場所を記憶して認識し「ここであそびたい」というようになった。
- 見つけた自然物をどう使てあそぶか 何をしてあそぶかに関心が変化ある子ども
- どこにたくさんの落葉があるか 自分たちであそぶ場所を見つけた子がいた。

11/26 「落葉であそべるところを探そう」 神社前広場



「おおきいおはあつたよ」  
「おめんつったよ」  
「おみせやせんやるよ」  
「どんぐりふえあたにしよう」



「このおはあはどどこからきたの？」  
「あのみかな」  
• 神社前広場に大きな葉がたくさん落ちていた。子どもたちは上を見上げどこから落ちてきたのか探していた。葉をお皿にしたり 習字に見立てたり 様々にあそびが広がっていった。

12/5 「そろそろおちばたまたかな」

たくさんの落葉であそぶ 神社前広場北側の坂  
• 散歩の行き帰り、日ごとに落葉が増えていく様子を見ていた子どもたちであった。北風が垣根にあたり落葉が集まる場所であった。



「おちばのトランポリンをつくらうよ」  
「せんのてみんなてとびこむよ」



「トンネルみたいになってるよ」  
「ひみつきらにする？」 「きもだめしある？」  
「これはきなのかな」 <sup>保育士</sup>「かきぬっていいんだよ」  
• 垣根が連なる場所を発見する。くぐってみようと思いが始まった。

1/30 見つけた自然をカメラで撮る だんだん広場 → 芝生広場



• 子どもたちがキッズカメラを使い、見つけた自然物を撮影した。移動をしながら自由に撮影したいものを探していった。



「木の上までとれるかな」 「木の下はどうなっているの」  
「葉の先までうつるかも」 様々な角度から撮ろうとしていた。



• 子どもたちが撮影した写真を一覧にした。自分で見つけた自然について友達と話しをある様子が見られた。

• 地図を作ることで「ここであそびたい」と明確なイメージで伝える姿があった。友達とのあそびが様々に発展していく様子が見られた。  
• キッズカメラを使う前は実葉を単体で持ち、関心を寄せていたがカメラを持つことで自然物の上下細部を見るなど視点に変化があった。また 風や光景、気候の変化気づき 関心の広がりがあった。